



アイ 学びeye

電子版の教育コーナー

道新先生 検索

フューチャーにある女性講師から、札幌南高等学校の生徒たちへ(札幌市)



同校は筋シフトロフィーや
重度心身障害がある生徒が多
く、通出が難しい。コロナ対
策で外国語指導助手(ALT)

新型コロナウイルスの感染拡大で、インターネットを活用した双方向型のオンライン学習が通内でも広がっている。教室での密を避け、体中中などの対面授業を補完する狙いが、地方の学校や外出が困難な生徒が国内外の人と交流したり、未知の分野の知識を得たりする場にもなっている。(光嶋あゆ)

オンライン 広がる学習の場

遠出困難でも海外と交流

塾ない地域 大学生が指導

の採用も見送る中、オンライン英会話教材を提供するドルームインターナショナル(札幌)が算力、フリスビーとの間を月1回結んでいる。池田英司教頭は「生徒たちはコロナ禍で、周辺の学校とも交流できていない。外国の人とつながる喜びを感じてくれれば」と話す。授業を機に英語検定の受験を希望する生徒もあり、遠隔授業の効果に期待する。

いたが、教員の働き方改革に伴い終了した。このため同校は、公設塾を研究する北大大学院生などを講師に指導している。北大や慶応大、東京女子医大などの学生が賛同した。後谷俊彦校長は「学生たちは地方にいる生徒たちのため、格差のない教育を提供しようと協力してくれた」と感謝する。



オンライン授業で、画面に映る大生から指導を受ける高2年生(生徒提供)

道立高、来年度から情報端末導入

オンライン学習を巡っては、タブレットなどの情報端末が1人1台配布されている小中学校で導入が進む。道立高も2022年度から新1年生を対象に、情報端末を原則購入してもらい、取り入れる予定だ。導入に当たっては、指導を行う教員が情報通信技術(ICT)に習熟する必要がある。学校現場からは「準備にかかる時間が足りない」との声が出ている。

教員の習熟「時間足りない」

導入に先立つ9年度には、教員向けにオンラインの専用ソフトの使い方を学ぶ講習を実施。翌年度からは専門知識のある職員を学校に派遣している。県教委学校教育情報化推進課は「オンライン授業の導入には、教員の苦手意識を取り除き、支える体制も必要だ」としている。

札幌新陽高(札幌市南区)では、生徒たちが札幌市南区は昨年度から、生徒自身が課

授業に切り替えた道央の高校の校長は「教員用の情報端末が全員分ないなど授業の準備ができる環境になかった」と明かす。

道外では広島県が「高校生1人1台」の運用を段階的に始め、オンライン授業にも取り組む。初年度の20年度は全1校のうち35校の1年生に導入し、21年度は残る4校の1年生に広げた。段階的な導入により、オンライン授業を行う際の利点や課題を整理できたという。

6月には家庭科の授業で、宇宙食の調理実習を行った。自宅にいる生徒たちが辻調理師専門学校(大阪)の講師の助言を受け、サツマイモやみそを食材にしたレシピを考案。オンラインで学校にいる教員に分量や作り方を指示し、完成させた。

担当する川崎輝一教頭は「オンラインが当たり前前の時代になり、これからは物理的な距離があっても人とつながる能力が必要になるはず。生徒たちにはその力を磨きつつ、さまざまな人と関わる体験をしてほしい」と話している。